

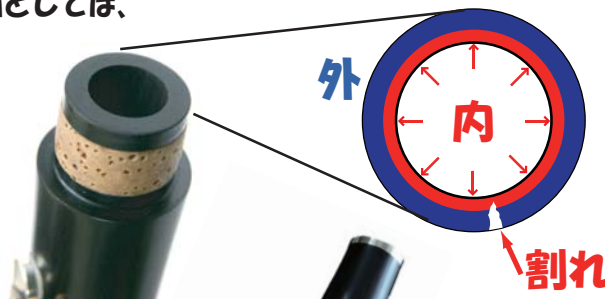
# 木管楽器の「割れ」について その再発防止と予防法

オーボエ・クラリネットなどの管体表面に「割れ」が生じる原因としては、

- ・管体表面が低温・乾燥状態の為 木組織が収縮している
- ・管体内面が高温・湿潤の為 木の組織が膨張している

時に内面の膨張に外側が耐え切れず割れる事が考えられます。  
具体的な対策としては、基本的に「外→冷・乾、内→温・湿」の  
状態にならないようにすれば割れる可能性は少なくなります。

(でも、決してゼロではありません。)



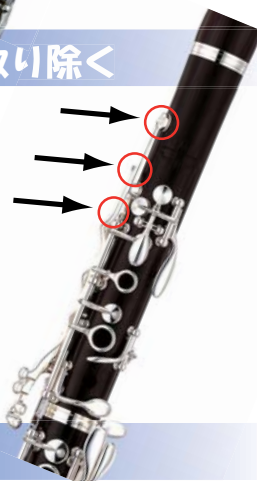
## ① 冷えた楽器の内側にいきなり息をいれない

割れ易い上管上部の外側を手のひら等で十分暖めてから  
少しずつ吹きます。



## ② 呼気(息)による結露により生じる水分をできるだけこまめに取り除く

5分おきをめどにスワフを通すようにしましょう。スワフを通しただけでは  
トーンホールにたまった水は取れないので、それらも吹き飛ばしましょう。  
特にクラリネットのCトリルキィ、B♭トリルキィ、F#-C#トリルキィなどは  
普段使わないキィなのでたまっても気付かない事が多いので要注意です。



## ③ 十分暖まった楽器を、むき出しのまま寒い所へ持ち出さない

冬は教室等でパート練習後「さあ、合奏」と音楽室など移動する時、廊下は意外と寒いです。  
これはみなさんあまり気をつける事が無いようです。せめて手で上管を握っておくか  
(その時に下管を落とさないように)、ケースにしまって移動しましょう。

## ④ もちろん演奏後、楽器をしまう前に水分は全て拭き取る

スワフを1回通しただけでは不十分です。(ジョイント部やトーンホール内部なども)  
トーンホールの上、ジョイント部の端面などには木の繊維の  
切り口が出ます。そこから水が入りやすいです。



「手入れはしっかりしてるのに・・・」とおっしゃる方も正直多いですが、いかがですか？

意外と見落としている点があったかもしれません。日常のお手入れ・取り扱い

(もちろん演奏中も) 今一度見直してみてください。特に1回割れてしまった方、  
割れる前と同じ事しかしなければ、また割れる可能性大です。楽器も吹かなければ

割れません。(筒状の天然木の内側に息をいれて水浸しにする。

これで割れないわけがありません) なにせ相手は天然木です。

水分・温度には敏感に反応します。快適な演奏ライフを楽しむ

ためにも、正しい手入れを早く身につけましょう。

管楽器の専門店

株式会社 **セントラル楽器**

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-15-2

TEL. 045-324-3111(代) FAX. 045-324-4025

E-Mail repair@central-gakki.jp

HomePage <http://central-gakki.jp/> **修理部**